

生野中学校区 学校適正配置検討会議 安全対策専門部会（第5回） 開催結果

■ 開催日時、場所

令和3年9月6日（月）19時00分～ 生野区役所6階大会議室

■ 議事

登校方法、通学路とその安全対策について意見交換を行った。

◆主な確認事項等

- ・通学路の変更案を検討するにあたり、舍利寺小学校区は資料上 B・2 および B・3、林寺小学校区は資料上 A・1 の新ルート案について、各地域に持ち帰り検討し、次回専門部会で意見交換する。
- ・資料上 46 番の東西道路を通学路としない場合を想定し、その南側の児童たちが通るルートを行政・学校側にて確認し、通学イメージがわかるよう資料化する。

【登校方法について】

- ・学校が提案する小集団での集団登校方法について、各地域に持ち帰り検討し、次回専門部会で意見交換する。

◆主な説明事項等

【通学路の安全対策について】

（行政より、資料に沿って説明を行った）

【新しい登校方法について】

（学校長より説明）

- ・3～5名程度の小集団を1つの集団とし集団登校としたい。リーダーは年長の児童を考えている。
- ・集合場所、集合時間も設定する。
- ・リーダーの負担を減らすためにも、保護者の支援は欠かせない考える。集合時間に間に合うよう、各家庭で自宅からの出発を促すような支援をいただきたい。
- ・2学期中に、グルーピングを行う。昼間に各小学校から新しい学校までの道を歩くような登校練習を予定。
- ・3学期には朝の時間帯に登校練習を予定。
- ・見守り隊へも協力依頼をしていきたい。

◆その他の主な意見等

（通学路の安全対策について）

- ・39番から40番について、南側の道が狭い。曲がり角も危険である。

- もし 40 番近辺の児童数が多くならないのであれば、この変更案は外してもよいのでは。
- ・ 45 番について、信号設置はないとしても、可能な安全対策を実施するとなっていたと思う。通学路については元々、安全かつ最短ルートを学校側で設定した。変更案であれば、舎利寺小の児童においては通学距離がさらに延び、心配である。45 番を含めて引き続き検討していきたい。また、もともとの案は、下校時においても、ギリギリまで複数人で帰れるようなルートとしているため、可能であれば活かしてほしい。
 - ・ 45 番における南北に走る車両のスピードを落とさせる何かいい案を検討してほしい。変更案として×としたルートを使用するとなった場合の対策として。
→校長先生もおっしゃったように、「速度落とせ」などの表示も対策の一つだと思うので、検討させてほしい。

(新しい登校方法について)

- ・ 小集団であるが、地域によっては低学年ばかりになる可能性もある。
→メンバーをみて配慮する。
- ・ 6～7 名などになる可能性もあるか。集合場所は固定か。
→人数については、地域によってはその可能性もありえる。
→集合場所については、住所が変わらなければ基本的に同じと考えているが、年度によって 1 名となる場合なども可能性があるため、そこは柔軟に考えたい。
→基本的には集団登校である。小集団としているが、年度により学年も人数も変わる。柔軟に対応するしかないと考えている。こどもの安全、保護者の安心を第一に考えたい。
そこで、一定、集合場所や集合時間を設定する。集団登校をしていない校区もあり、課題はあると認識している。